

ぽかぽか

7・8月合併号

夏のあそびを楽しもう

保育園でこどもたちが行っている夏のあそびの様子をご紹介します。水、絵の具、氷、片栗粉、泡（せっけん）等さまざまなものに触れて、冷たさや気持ちよさを感じたり、発見をしたりと日々楽しんでいきます。

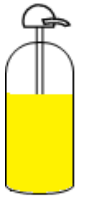
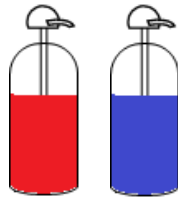
色水あそび



水に赤、青、黄の絵の具を入れて三原色の色水を用意します。シャンプーボトルに入れることで、こどもたちが好きな量をカップ等に入れて混色を楽しんでいます。できた色からイメージを膨らませて、「メロンだよ。」「みかんジュースできた。」「ぶどうあじです。」とジュース屋さんごっこにも発展しています。

※小さい子のクラスでは、絵の具ではなく食紅を使用することもあります。

- 白色の色水も用意すると、また混色の幅が広がります。
- 大きい子のクラスでは、ウォーターシャグを使うことで、シャンプーボトルより色の微調整がしやすく、少しずつ混ぜて楽しんでいます。



氷あそび

氷の冷たさを感じたり、溶けて水になっていく様子を観察したりしています。色水を製氷皿や牛乳パックに入れて凍らせるのも楽しいです。

かき氷機で氷を削っておき、こどもたちが色水シロップをかけてかき氷屋さんごっこをするのも人気のあそびです。



片栗粉あそび

片栗粉に水を加え、かき混ぜたり握ったりしながらあそんでいます。（比率→片栗粉2：水1）

片栗粉は握っている時は硬いですが、手を広げるとドロドロと液体に戻ります。（この現象を「ダイラタンシー現象」といいます。）

感覚あそび

フリーザーバッグを二重にして、中に保冷剤と水、ビーズ等を入れます。しっかりと口を閉じ、中身が出ないようにしてあそびます。触れて冷たさを感じたり、ぶにぶにの感触を楽しんだりします。また、ビーズの動く様子を観察するのもあそび方のひとつです。0歳児のこどもたちは、上に座っておしりでも感触を楽しんでいます。

ご家庭であそぶ際にも、水の事故には注意していただき、お子さんが口に入れてしまうことのないように見守り、安全に楽しく遊んでください。



泡あそび

固形石鹸を水で溶いて混ぜ、泡を作ります。泡だて器や洗顔ネットを使うと泡が作りやすいです。黄色の色水に泡をのせて「ビールだよ。せんせいすきでしょ。」と大人にすすめてくれます。

